



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年2月12日

上場会社名 株式会社ビジネスブレイン太田昭和 上場取引所 東  
 コード番号 9658 URL <https://www.bbs.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小宮 一浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員グループ (氏名) 上原 仁 TEL 03-3507-1302  
 管理統括  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	31,106	10.0	2,452	11.6	2,445	11.2	3,111	21.5	2,083	4.7	2,055	5.0
2025年3月期第3四半期	28,291	12.8	2,197	21.1	2,199	△89.0	2,561	△87.1	1,989	△85.3	1,958	△85.5

(注) 1. 四半期包括利益合計額 2026年3月期第3四半期 2,093百万円(△3.4%) 2025年3月期第3四半期 2,167百万円(△84.1%)  
 2. 事業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	189.92	189.91
2025年3月期第3四半期	168.66	168.59

### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	46,866	30,134	29,648	63.3
2025年3月期	45,322	29,612	29,138	64.3

(注) 2026年3月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	37.00	—	41.00	78.00
2026年3月期	—	66.50	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	66.50	133.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	42,600	9.8	3,300	14.9	3,300	14.9	3,970	18.4	2,600	3.6	2,560	3.7	222.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	11,615,200株	2025年3月期	12,725,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	797,619株	2025年3月期	1,779,249株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	10,819,057株	2025年3月期3Q	11,607,675株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期第3四半期の個別業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	18,969	14.3	1,940	21.5	2,446	28.0	2,065	△21.1
2025年3月期第3四半期	16,591	20.5	1,596	43.2	1,910	31.4	2,616	4.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	190.88	—
2025年3月期第3四半期	225.37	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	23,405	15,127	64.6	1,398.36
2025年3月期	22,522	14,956	66.4	1,366.37

個別業績の概要における財務数値については、日本基準を適用しています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、主として以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- (1) 当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) 当社グループが提供するサービスに対する需要動向

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。

2026年2月13日（金）……機関投資家・証券アナリスト向け説明会（オンライン）

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	8
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や、インバウンド消費の増加等を背景に、内需を中心に景気は緩やかな回復を見せる一方で、物価上昇の継続や米国の関税政策による影響の懸念、ウクライナ及び中東情勢の不安定化等、世界的に地政学リスクが高水準で推移し、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループの受注高は前期に続き順調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における受注高は30,562百万円（前年同期比5.5%増）、受注残高は12,454百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

売上収益は、コンサルティング・システム開発事業、BPO&マネージドサービス事業が伸長したことにより、全体として前年同期比10.0%増加の31,106百万円となりました。

売上総利益につきましては、外注費が増加しつつも、前年同期に比べ7.5%増加となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、人件費、減価償却費等の増加により前年同期比6.9%増加となりました。

その結果として、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上収益31,106百万円（前年同期比10.0%増）、事業利益2,452百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益2,445百万円（前年同期比11.2%増）、税引前四半期利益3,111百万円（前年同期比21.5%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益2,055百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

セグメント情報については、従来は「コンサルティング・システム開発事業」と「マネージメントサービス（BPO）事業」の2つの事業区分としておりましたが、第1四半期連結会計期間より「コンサルティング・システム開発」、「SES共創ビジネス」、「BPO&マネージドサービス」の3つの事業区分に変更しております。

これは、当社グループの各事業が拡大する中で従来の区分方法が実態と乖離しつつあることから、現在の事業構造や収益構造を踏まえより事業の実態を反映した区分としたものであります。

コンサルティング・システム開発：

経営会計・プロダクトライフサイクル（PLM）及び関連領域におけるコンサルティングを主とした請負型のシステム開発・導入支援・保守

SES共創ビジネス：

主として準委任型のシステム開発、SE派遣

BPO&マネージドサービス：

人事給与・経理のビジネスプロセスアウトソーシングサービス（BPO）及びコールセンターオペレーター等の派遣、主にパッケージ製品ベンダー等向けの製品保守及び業務アウトソーシングサービスを行うマネージドサービス

なお、前第3四半期連結累計期間の値につきましては、必要な組替をした上で増減コメントを記載しております。

コンサルティング・システム開発事業の当第3四半期連結累計期間における業績は、売上収益17,094百万円（前年同期比14.8%増）、事業利益1,592百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上収益及び事業利益につきましては、経営会計コンサルティング&ソリューションが大きく伸長したことによるものです。

SES共創ビジネス事業の当第3四半期連結累計期間における業績は、売上収益6,894百万円（前年同期比1.4%減）、事業利益391百万円（前年同期比11.8%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上収益につきましては、金融向けビジネスが苦戦したものの、事業利益につきましては順調に伸ばすことができました。

BPO&マネージドサービス事業の当第3四半期連結累計期間における業績は、売上収益7,487百万円（前年同期比10.8%増）、事業利益642百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上収益につきましては、マネージドサービスを除き順調に推移をしましたが、事業利益につきましては、経理BPOやオンサイトBPOが好調に推移したものの、人事給与BPOやマネージドサービスの苦戦により、微増という結果となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は46,866百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,544百万円の増加となりました。

流動資産は、19,099百万円と前連結会計年度末に比べ848百万円増加しました。その主な要因は、契約資産の増加1,035百万円、現金及び現金同等物の増加315百万円の方、債権回収による営業債権及びその他の債権の減少571百万円等によるものであります。

非流動資産は、27,767百万円と前連結会計年度末に比べ695百万円増加しました。その主な要因は、使用権資産の増加839百万円、持分法で会計処理されている投資の増加259百万円の方、その他の金融資産406百万円の減少等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計額は16,732百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,021百万円の増加となりました。

流動負債は、8,104百万円と前連結会計年度末に比べ164百万円の増加となりました。その主な要因は、営業債務及びその他の債務の増加273百万円、未払法人所得税等の増加454百万円の方、その他の流動負債590百万円の減少等によるものであります。

非流動負債は、8,627百万円と前連結会計年度末に比べ857百万円の増加となりました。その主な要因は、リース負債の897百万円増加等によるものであります。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本合計額は30,134百万円となり、前連結会計年度末に比べ523百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日付「2025年3月期 決算短信 [IFRS] (連結) において公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	9,907,750	10,222,800
営業債権及びその他の債権	5,092,915	4,522,014
契約資産	1,911,182	2,945,882
その他の金融資産	315,548	318,038
棚卸資産	103,533	162,006
その他の流動資産	920,032	928,648
流動資産合計	18,250,960	19,099,388
非流動資産		
有形固定資産	624,949	592,759
使用权資産	2,628,077	3,467,271
のれん	2,097,965	2,097,965
無形資産	1,090,645	1,085,055
持分法で会計処理されている投資	17,073,004	17,332,395
その他の金融資産	2,908,888	2,502,849
繰延税金資産	557,533	614,598
退職給付に係る資産	52,523	38,784
その他の非流動資産	37,754	34,946
非流動資産合計	27,071,338	27,766,622
資産合計	45,322,298	46,866,010

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
リース負債	807,825	747,435
営業債務及びその他の債務	2,115,788	2,389,177
その他の金融負債	276,069	383,086
未払法人所得税等	332,424	785,966
引当金	156,093	141,170
契約負債	444,883	440,516
その他の流動負債	3,807,241	3,216,929
流動負債合計	7,940,323	8,104,279
非流動負債		
リース負債	1,883,508	2,780,261
その他の金融負債	40,912	18,577
退職給付に係る負債	446,156	409,227
引当金	513,188	577,087
株式報酬に係る負債	277,694	247,878
繰延税金負債	4,224,234	4,182,933
その他の非流動負債	384,744	411,353
非流動負債合計	7,770,436	8,627,316
負債合計	15,710,759	16,731,595
資本		
資本金	2,233,490	2,233,490
資本剰余金	4,487,356	2,734,803
利益剰余金	24,602,841	25,738,381
自己株式	△2,640,821	△1,283,493
その他の資本の構成要素	454,797	224,366
親会社の所有者に帰属する持分合計	29,137,663	29,647,547
非支配持分	473,877	486,869
資本合計	29,611,539	30,134,415
負債及び資本合計	45,322,298	46,866,010

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上収益	28,291,059	31,106,304
売上原価	21,853,631	24,186,227
売上総利益	6,437,428	6,920,077
販売費及び一般管理費	4,255,938	4,550,130
その他の収益	39,383	97,256
その他の費用	22,226	22,003
営業利益	2,198,647	2,445,200
金融収益	99,170	306,723
金融費用	11,708	24,418
持分法による投資損益 (△は損失)	317,983	425,247
持分変動損益 (△は損失)	△43,442	△41,943
税引前四半期利益	2,560,650	3,110,809
法人所得税費用	572,121	1,028,221
四半期利益	1,988,529	2,082,588
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,957,747	2,054,788
非支配持分	30,782	27,800
四半期利益	1,988,529	2,082,588
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	168.66	189.92
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	168.59	189.91

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期利益	1,988,529	2,082,588
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	121,256	△67,054
持分法によるその他の包括利益	54,479	77,431
純損益に振り替えられることのない項目合計	175,735	10,377
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,916	227
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	2,916	227
税引後その他の包括利益	178,651	10,604
四半期包括利益	2,167,180	2,093,192
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,135,245	2,065,763
非支配持分	31,935	27,429
四半期包括利益	2,167,180	2,093,192

(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

IFRS会計基準		新設・改訂の概要
IAS第21号	外国為替レート変動の影響	通貨が他の通貨と交換可能でない場合の要求事項を明確化

上記基準書の適用による要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

セグメント情報については、従来は「コンサルティング・システム開発事業」と「マネージメントサービス（BPO）事業」の2つの事業区分としておりましたが、第1四半期連結会計期間より「コンサルティング・システム開発」、「SES共創ビジネス」、「BPO&マネージドサービス」の3事業区分に変更しております。

これは、当社グループの各事業が拡大する中で従来の区分方法が実態と乖離しつつあることから、現在の事業構造や収益構造を踏まえより事業の実態を反映した区分としたものであります。

新区分における各セグメントの主な事業内容は以下のとおりです。

コンサルティング・システム開発：

経営会計・プロダクトライフサイクル（PLM）及び関連領域におけるコンサルティングと主として請負型のシステム開発・導入支援・保守

SES共創ビジネス：

主として準委任型のシステム開発、SE派遣

BPO&マネージドサービス：

人事給与・経理のビジネスプロセスアウトソーシングサービス（BPO）及びコールセンターオペレーター等の派遣、主にパッケージ製品ベンダー等向けの製品保守及び業務アウトソーシングサービスを行うマネージドサービス

なお、前第3四半期連結累計期間の値につきましては、必要な組替をした上で記載しております。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。  
なお、セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結
	コンサル テイング・ システム開発	S E S 共創 ビジネス	B P O & マネー ジドサービス	計		
売上収益						
(1) 外部顧客	14,882,077	6,902,068	6,506,914	28,291,059	—	28,291,059
(2) セグメント間収益	7,361	93,378	247,439	348,178	△348,178	—
合計	14,889,438	6,995,446	6,754,353	28,639,237	△348,178	28,291,059
事業利益(注2)	1,393,532	349,320	627,888	2,370,740	△173,253	2,197,487

(注1) 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント利益の調整額△173,253千円には、セグメント間取引消去等26,602千円、特定のセグメントに  
帰属しない費用△199,855千円が含まれております。

(注2) 事業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。

(注3) 第1四半期連結会計期間よりセグメント事業区分を変更しており、前第3四半期連結累計期間に係る各数値に  
ついて必要な組替を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結
	コンサル テイング・ システム開発	S E S 共創 ビジネス	B P O & マネー ジドサービス	計		
売上収益						
(1) 外部顧客	17,065,930	6,716,105	7,324,269	31,106,304	—	31,106,304
(2) セグメント間収益	28,530	178,003	162,829	369,362	△369,362	—
合計	17,094,460	6,894,108	7,487,098	31,475,666	△369,362	31,106,304
事業利益(注2)	1,591,588	390,573	641,928	2,624,089	△172,571	2,451,518

(注1) 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント利益の調整額△172,571千円には、セグメント間取引消去等△26,675千円、特定のセグメント  
に帰属しない費用△145,896千円が含まれております。

(注2) 事業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。

事業利益から税引前四半期利益への調整は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
事業利益	2,197,487	2,451,518
その他	1,160	△6,318
営業利益	2,198,647	2,445,200
金融収益	99,170	306,723
金融費用	11,708	24,418
持分法による投資損益 (△は損失)	317,983	425,247
持分変動損益 (△は損失)	△43,442	△41,943
税引前四半期利益	2,560,650	3,110,809

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費は、次のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費及び償却費	920,063	1,164,871

(重要な後発事象)

該当事項はありません。